

平成 29 年度 感染管理研修概要

1. 目的：感染管理の基礎知識を理解し、感染看護を推進するためのリーダーとしての役割遂行能力を養う。
2. 対象：施設内で感染管理の任にある者、および準ずる者。全日程受講可能な者。

*受講前課題あり。 課題については、部署で確認したものを提出して下さい。

(開講時 受付に3部提出します。自身でも原本を保管し、演習時に持参下さい。)

3. 日程及び内容

回	日	時	内 容
1	5/14 (日)	10:00~10:30	開講・オリエンテーション
		10:30~12:00	感染管理とマネジメント ・リーダーの資質 ・感染管理とは ・現状と問題点 ・感染対策の考え方 ・感染対策予防において看護師の役割 など
		13:00~16:00 *公開	感染予防対策の基本 ・標準予防策 ・感染経路別予防対策 ・手洗いの基本 ・防御具の基準と使用法・消毒、滅菌の基本 など
2	6/11 (日)	9:30~12:00 *公開	感染症の基礎知識1 微生物と感染症対策 ・院内感染症対策について ・結核感染症対策、インフルエンザ対策について
		13:00~16:00	侵襲的な器具や処置の感染予防策の実践 ・血流感染予防対策 ・尿路感染予防対策 ・人工呼吸器関連肺炎予防対策 ・手術部位感染予防対策
3	7/15 (土)	9:30~12:00 *公開	職業感染防止の実践 ・職業感染防止の背景 ・針刺し防止対策 ・接触者対策 ・患者環境と感染予防 ・基本ケアと感染予防
		13:00~15:30	演習① 施設の現状と自己の課題確認
4	7/16 (日)	9:30~15:30 *公開	感染症の基礎知識2 最新の動向 ・新興ウイルス感染症の最新情報 (ノロウイルス感染症、鳥インフルエンザ感染症、エボラ出血熱、デング熱、コロナウイルス感染症 等)
5	8/11 (金)	9:30~15:30	演習② 感染管理の実践計画立案 ・自分の立場でのマネジメントの計画書作成 ・実践報告会オリエンテーション
6	12/16 (土)	9:30~15:30 *公開	実践報告会

平成 29 年度 イキイキ 中堅ナース研修概要

1. 目的：中堅看護職員として期待される役割を自覚し、その役割を実践するために必要な知識・技術を確認・習得する。
2. 目標：1) 看護実践者としてスタッフに対しモデル的役割が果たせ、看護技術の指導ができる。
2) 新人看護職員に日常生活援助技術を安全・確実・効率的に実施できるよう指導ができる。
3) 新人看護職員・実地指導者・プリセプターの支援ができる。
3. 対象：経験5年以上の看護師（管理者は除く）、助産師、保健師
4. 日程及び内容

回	日 時	内 容
1	5/20 (土)	9:30～12:00 オリエンテーション 情報交換 ～現状・課題把握～
	13:00～15:30	中堅ナースへの期待 ・専門職とは、キャリアとは・中堅ナースとは、 ・組織とは、・中堅ナースの役割は、強みと弱みは
2	5/21 (日) *公開	9:30～15:30 看護が見えるナラティブ ・ナラティブとは・ナラティブをどのように看護に活用するか ・看護師にとっての知 ・看護師個人の実践知を語る意味 ・ナラティブの活用と日々の看護実践
3	6/23 (金)	9:30～15:30 安全で良質な看護を提供するために ・組織における中堅ナースの位置づけおよび役割確認 ・看護手順の意義及び作成の根拠、効果的活用法 ・リスクマネジメントの視点で看護手順をとらえる
4	6/24 (土)	9:30～15:30 演習：中堅ナースの強みを生かした看護実践 ～看護手順とは、見直し、作成、活用法～
5	7/21 (金)	9:30～15:30 eラーニングを活用した院内教育 ・eラーニングプログラム教材開発作成と活用 ・タブレット端末による院内教育指導の実際
6	7/22 (土)	9:30～15:30 中堅ナースだからできる人材育成 ・「新人看護職員研修ガイドライン」の考え方 ・新人看護職員研修における各担当者の役割 ・院内教育計画と新人看護職員研修体制 ・新人看護職員の特徴と支援体制 ・新人を育てる風土づくり等 ・新人看護師・実地指導者の支援の実際

平成 29 年度 看護研究研修概要

1. 目的：看護研究の基礎的手法を理解し、臨床での看護研究に役立てる。
看護の現象に関し研究的視点をもつことができる。
2. 対象：看護研究に関心がある経験3年以上の者で研究計画書の提出可能な方(メール送信ができる方)
3. 日程及び内容

回	日	時	内 容	備 考
1	6/9 (金)	9:30～ 15:30 *公開	看護研究導入 ・研究に必要な知識と技術 ・研究のプロセス ・看護研究としてのテーマ絞り方 ・研究計画書の作成の仕方	研究計画書を メール添付。 (できる範囲 内で可)
2	6/10 (土)	9:30～ 15:30 *公開	看護研究倫理 ・研究倫理の歴史・研究倫理として必要な項目とは？ ・研究依頼書(鏡文)の書き方、倫理審査に必要な 文書作成と倫理的配慮の書き方	
3	7/14 (金)	9:30～ 15:30 *公開	明日から使える！文献検索法とその実際 ・文献検索法の実際、良い引用・参考文献の見分け方、 引用・参考文献の書き方の実際 ・インターネットによる検索の実際、必読書の紹介	
4 5	7/28 (金) 7/29 (土)	9:30～ 15:30 *公開	わかりやすい文章とは？論文の書き方 ・論文の書き方 ・研究抄録の文章作成の実際 *方法、結果、考察を抄録の添削をしながら書き方 を習得 ・図表作成の基礎(記載する内容、わかりやすい図表 とは？タイトル、説明文の書き方)	
6 7	8/11 (金) 8/12 (土)	9:30～ 15:30	看護研究に活用できる統計学 ・統計学の基礎 ・看護研究に用いられる統計処理	パソコン持参 *使用テキスト あり
8	9/2 (土)	9:30～ 15:30	研究計画書作成 *提出した計画書の改善を具体的に指導	研究計画書修正 提出後、それを基 に指導 提出は研修セン ターへメール添 付提出○日迄
9	10/14 (土)	9:30～ 15:30	プレゼンテーションの方法 (2010 パワーポイントのソフトのみ)～即戦力！パワーポイントは、こう作る！ ・スライドの文字数、背景と文字体の選択と大きさ ・Excel 2010による作図のテクニック 等	パソコン持参 (2010のパワー ポイントのソフト に限定！)

*6・7回目の「看護研究に活用できる統計学」では、「看護・保健医療のための 新 楽しい統計学」第3版(2015.2)(中野正博著)のテキストを使用します。

平成 29 年度 尊厳を守る看取りのケア研修概要

1.目的：看取りのケアに必要な知識を学び、看取りケアを体系的に習得することで他職種と協働した看取りの在り方を考える。また、自施設でのよりよい最期を迎えるための支援への取り組み方に繋げる。

2.対象・受講要件：総論定員 80 人、各論定員各領域 50 人。

総論+各論受講とする。

(総論 2 日間は必須。各論は希望領域を選択する、全領域選択受講可)

(専用申込書で F A X 申込、申込と同時に受講決定)

3.日程及び内容：

総論定員 80 人

総論	回	月日	内 容
	1 ・ 2	7/8(土) 7/9(日)	1.看取りの基礎知識／概論 ・理論や概念を踏まえた看取りのケア ・ライフサイクルを捉えた看取り ・倫理的課題 2.死にゆく人の特徴とその支援 3.看取りのケアに必要な基礎知識

各論定員 50 人

各論	回	領域	月日	内 容
	1	介護保険施設における看取り	8/5(土)	1.施設における看取りの現状 2.利用者や家族の思いを尊重したケア 3.多職種との連携 4.施設の指針 5.地域連携について
	2	在宅における看取り	8/6(日)	1.在宅における看取りの現状 2.看取りにおける意思決定 3.在宅における看取り支援の実際 4.家族への支援 5.多職種との連携 6.地域包括ケアシステムにおける看護師の役割
	3	一般病棟における看取り	8/26(日)	1.医療施設における高齢者の看取りの現状 2.高齢者の倫理的課題 3.高齢者の意思決定支援 4.家族支援 5.臨死期のケア 6.多職種協働と地域連携
	4	周産期小児における看取り	8/27(日) *	1.周産期 ベリネイタルロスの現状／ベリネイタルロスを経験した母親・家族への支援(グリーンケア) 2.NICU NICUにおける看取りの現状／子どもを尊重したケア／家族支援 3.小児 小児における看取りの現状小児を尊重したケア(意思決定支援など)／家族支援
5	救急・災害における看取り	9/16(土)	1.救急・災害医療における看取りの現状 2.家族への支援(複雑性悲嘆、代理意思決定など) 3.救援者のセルフケア	

研修時間は9時30分～15時30分です。

*各論4の周産期小児における看取り研修は10時～16時となります。

平成 29 年度エンド・オブ・ライフケア研修概要

(ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム)

1. 目的：疾患を問わず質の高いエンド・オブ・ライフ・ケア（人が人生を終える時期に必要とされるケア）を提供できる能力を養う。
2. 対象：3年以上の臨床経験があり部署・施設内で指導的立場にある看護師
3. 受講要件：全日程受講できる者
4. 定員：50名
5. 修了証：全日程を終了した者には研修修了証を交付する。
6. 講師・演習指導者：認定看護師・領域専門家
7. 日程等：下記の内容で講義、ケーススタディ、グループディスカッション、ロープレイ、ビデオ視聴等を通して進行。詳細の内容・時間配分等については受講決定通知時に送付。
8. その他：冊子資料は研修会当日配布
9. 日程及び内容：

回	日	時	内 容
1	11/18 (土)	9:00～ 17:00	<ol style="list-style-type: none"> 1. エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護 2. 痛みのマネジメント 3. 症状マネジメント 4. エンド・オブ・ライフケアにおける倫理的配慮 5. エンド・オブ・ライフケアにおける文化への配慮
2	11/19 (日)	9:00～ 17:00	<ol style="list-style-type: none"> 6. コミュニケーション—患者の意思決定を支えるために— 7. 喪失・悲嘆・死別 8. 臨死期のケア 9. 高齢者のエンド・オブ・ライフケア 10. 質の高いエンド・オブ・ライフケア

平成 29 年度 医療の対話推進者養成研修概要

1. 目的：医療機関の職員が、患者・家族の間で生じた様々な問題について、対話を通して協働的かつ柔軟に解決できるよう、実際の現場で活用できる知識・技術を習得する。
※本研修は患者サポート体制充実加算のための「医療対話推進者の業務指針及び養成のための研修プログラム作成指針—説明と対話の文化の醸成のために—」(指針)に基づく養成研修。
2. 対象：医療機関の看護職で相談窓口担当者、またはその任にあたる予定の者、医療メディエーションに興味のある者等
3. 受講要件：全日程受講できる者
4. 定員：50名
5. 修了証：全ての研修時間を受講した者には、修了証を交付する。
6. 日程等：下記の日程、内容で、ロールプレイで進行。
 詳細の時間配分等については、研修初日に提示。

回	日	時	内 容
1	12/23(土)	9:30～ 15:30	1. 医療対話推進者の業務指針 <ul style="list-style-type: none"> ・対話推進を図る対策の動向 ・医療機関における医療対話推進者の位置づけ ・医療対話推進者の業務
2	12/24(日)		2. 患者・家族対応の基本的知識① <ul style="list-style-type: none"> ・対話スキル ・クレーム対応スキル
3	1/13(土)		3. 相談窓口の実際
4	1/14(日)		4. 医療安全に関する基本的知識
			5. 患者・家族対応の基礎知識②～支援体制の構築～ <ul style="list-style-type: none"> ・組織作り ・医療機関内の患者・家族支援体制 ・患者・家族支援に関する委員会等の活動と評価
			6. 患者家族支援についての職員に対する研修の企画
			7. 患者・家族支援に資する情報収集と分析、評価
			8. 医療事故発生等について患者・家族からの申し出があった場合の対応
			9. 説明と対応の文化の醸成
			10. 事例検討会【演習ロールプレイ①～⑤】 <ul style="list-style-type: none"> ・事例の分析・評価
			11. 事例検討発表 <ul style="list-style-type: none"> ・成功事例から学ぶ ・課題を残した事例の分析
			12. 患者・家族の立場から医療現場に望むこと
			13. 医療対話推進者としてのこれから～責務を果たすために～